

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立緑ヶ丘第一小学校 】

1 実践テーマ	IV
2 実施対象者 (学年・人数)	3年児童 86名、6年児童 118名 教職員10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (生活科・総合的な学習の時間) ② 行事名 (ハンガリーってどんな国?)
4 目 標 (ねらい)	○世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成を図る。 ○郡山市はハンガリーのホストタウンとなっており、オリンピック・パラリンピックへの児童の興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>(1) 前半 3年・6年「ハンガリーの文化を知ろう！」 ハンガリーの小学生の学校生活、あいさつ、食べ物等について3名の留学生から映像や具体物を提示していただきながら説明を聞く。</p> <p>(2) 後半 3年「クリスマスクラフトをつくろう！」 3年生は各教室へ戻り、ハンガリーのクリスマスの習慣として馴染みの深いクリスマスクラフトの作成を行った。ツリーの形に切られた紙にリボンを巻いていく作業は少し難しかったが、それぞれの思いの詰まったきれいな作品に仕上がりに、ハンガリー文化に触れることができた。</p>  <p>(3) 後半 6年「ハンガリー語を学ぼう！」 6年生は、英語力を高める目的で、あらかじめ聞きたかった質問に対する答えを、1回目は英語で説明していただき、2回目に日本語で話していただいた。また、英語</p>

で質問をする時間も設けた。次に簡単なあいさつ等をハンガリー語で教えていただき、あまり馴染みのないハンガリーの言語にも触れることができた。



(4) 「いっしょに食べよう」！
3年生のクラスに留学生を一人ずつお招きし、一緒に給食を食べながら、楽しくふれあいました。



6主な成果

○ホスト国の文化に触れることで、日本と外国の文化や生活習慣の違いに気づき、多様性を認め、尊重しようとする態度を育成することができた。
○総合的な学習で学んだ人とのつながりの大切さをハンガリーの留学生とふれあうことでさらに深めることができた。

7実践において工夫した点
(事業の特色)

各学年の実態に合わせ、後半の活動内容を検討し、3年生には制作活動を取り入れながらハンガリーのクリスマスの時期の生活習慣に触れさせ、6年生には、言語を通して交流を深め、英語力の向上や簡単なハンガリー語の理解等を意図した活動を取り入れる等の工夫を図った。

8主な課題等

留学生等のスケジュールの関係で、なかなか希望した時期や日程で実施することが難しい。

9来年度以降の実施予定

ハンガリーとの交流を生かし、さらに他国にも目を向け、文化の多様性の理解を広げて、お互いの文化を尊重していくことができるような児童の育成につなげたい。